

22nd European Vascular Course (Maastricht the Netherlands)参加報告

製鉄記念室蘭病院 心臓血管外科(昨年度 旭川医科大学 血管外科)

多田 裕樹 (ただ ゆうき ; 33 才)

2018年2月19日に行なわれた Peripheral Artery Surgical Meeting 2018 in Mie において、Distal bypass with the Basilic-cephalic Loop Graft. の題で症例報告を行った。末梢バイパスにおいて上腕尺側-橈側皮静脈を連続で採取する事で、比較的血管径の大きな長区間の single segment graft を得ることができた。狭小な静脈や splicing などといった予後不良因子を回避する事で、大伏在静脈が使用できない症例の long bypass でも長期予後が期待できると考えられた。PASM の御高配により、2018年3月4日～6日にオランダ・マーストリヒトで行なわれた EVC (European Vascular Course) 参加へのご支援をいただいた。血管外科領域について、入門/実践・手技/デバイス・座学/体験/議論など多角的/総合的に取り扱っており、非常に有意義な学びの場であった。昨年 PASM で発表した内容の要旨とともに、EVC 参加について報告する。